情報通信

視線計測による心理的レジリエンス推定

用途・応用分野

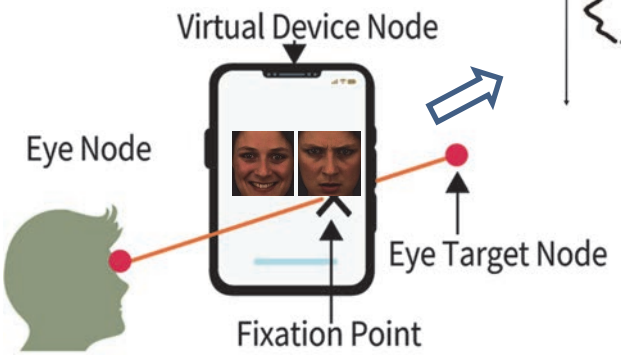
タブレット端末やスマートフォン上で画像を視認する際に現れる注意バイアスから、ヒトの心理的レジリエンス（ストレス脆弱性）を推定するシステム。メンタル不調の早期発見に応用できると考えている。

本技術の特徴・従来技術との比較

これまで、心理的レジリエンスの推定にはアンケートによる手法しかなく、繰り返しの計測や詐病のリスクが存在していた。このようなメンタル不調者を十分に把握できない現状に対して、視線処理に関わる心理学的および神経学的メカニズムの存在による視線解析より、無意識状態での計測を実現。本手法を用いることで、タブレットやスマートフォンを用いて日々のレジリエンスの変動を手軽に知ることができるようになると考えている。

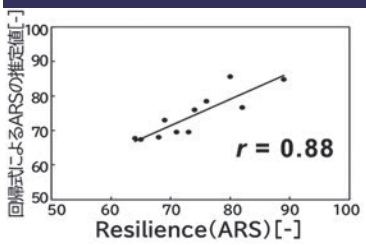
技術の概要

タブレットに付属したカメラを用いた視線移動データの計測





特徴量抽出とレジリエンスの推定





ストレス脆弱性（レジリエンス）の表示

特許・論文

＜特許＞

「心理的レジリエンス推定方法、心理的レジリエンス推定装置および制御プログラム」

（特開2025-186150）

研究者

小谷　賢太郎
システム理工学部　機械工学科
人間工学研究室

お問合わせ先
関西大学 社会連携部 産学官連携センター
TEL：06-6368-1245
MAIL：sangakukan-mm@ml.kandai.jp